

浦添市男女共同参画に関する市民の意識と実態調査報告

1) 調査の目的

男女共同参画に関する市民の意識や実態を把握するとともに、令和8年度策定予定の「第4次浦添市男女共同参画行動計画」を検討するための基礎資料として活用することを目的に実施した。

2) 調査の実施方法・回答率

調査名	対象者/実施方法	実施期間	有効回収数(率)
市民アンケート	20～69歳の市民 2,000 人 /郵送による配布回収、Web 回答併用	R7.12.19～ R8.1.13	527 件(26.4%)
事業所アンケート	市内事業所 1,000 件 /郵送による配布回収、Web 回答併用	R8.2.2～ R8.2.16	171 件(17.8%)
中学生アンケート	市内中学2年生 1,229 人 /各生徒のタブレット等端末を 用いた Web 回答	R7.11.11～ R7.12.25	1,012 件(82.3%)
高校生アンケート	市内県立高校2年生 1,400 人/各生徒のタブレット等端末 を用いた Web 回答	R7.11.11～ R7.12.25	725 件(51.8%)
市職員アンケート	浦添市役所職員 1,629 人 /グループウェアを活用した Web 回答	R8.2.6～ R8.2.27	306 件(18.8%)

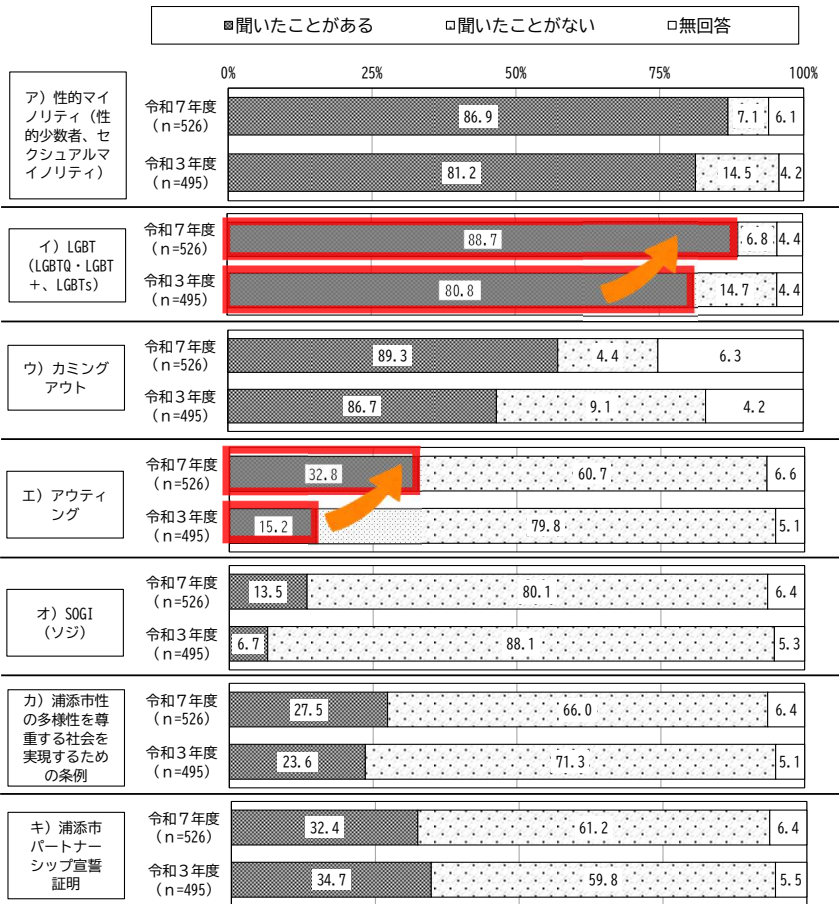


調査票・調査報告書は
浦添市ホームページにて
公開中！！

3) 調査の結果概要（一部抜粋）

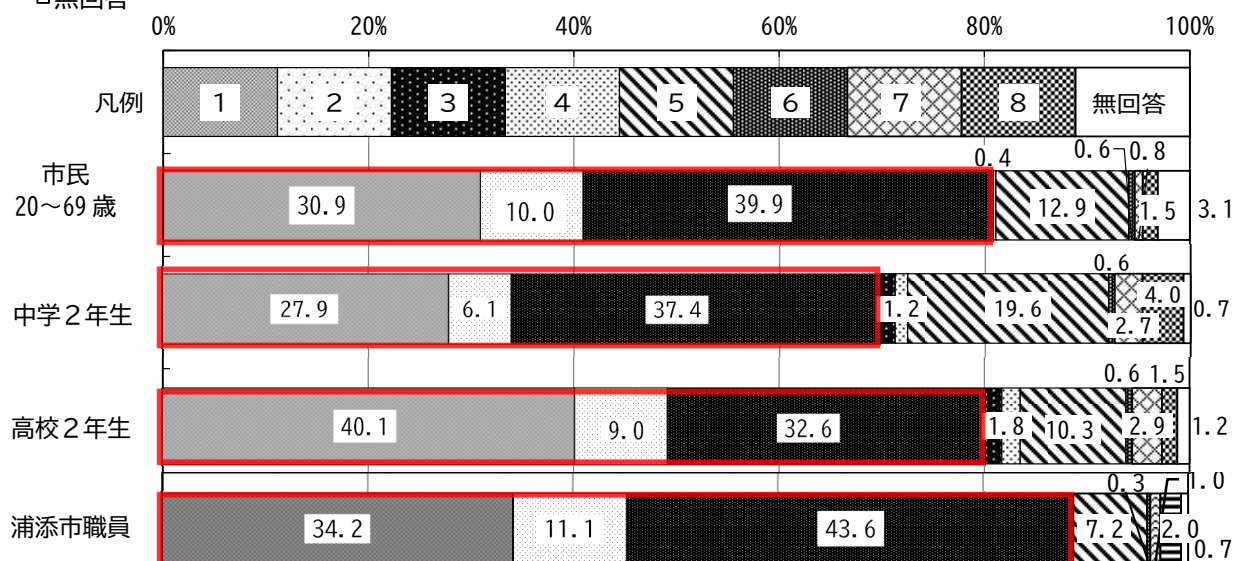
性の多様性に関する語句の認知度 前回調査（令和3年度）との比較

「聞いたことがある」が上昇した項目についてみると、令和3年度と比べて「**アウティング**」が+18ポイント、次いで「**LGBT(LGBTQ・LGBT+、LGBTs)**」が+8ポイント上昇しています。



あなたは、家族や友人など身近な方から性的少数者（セクシュアルマイノリティ）であることを打ち明けられたとしたら、どのように思いますか。

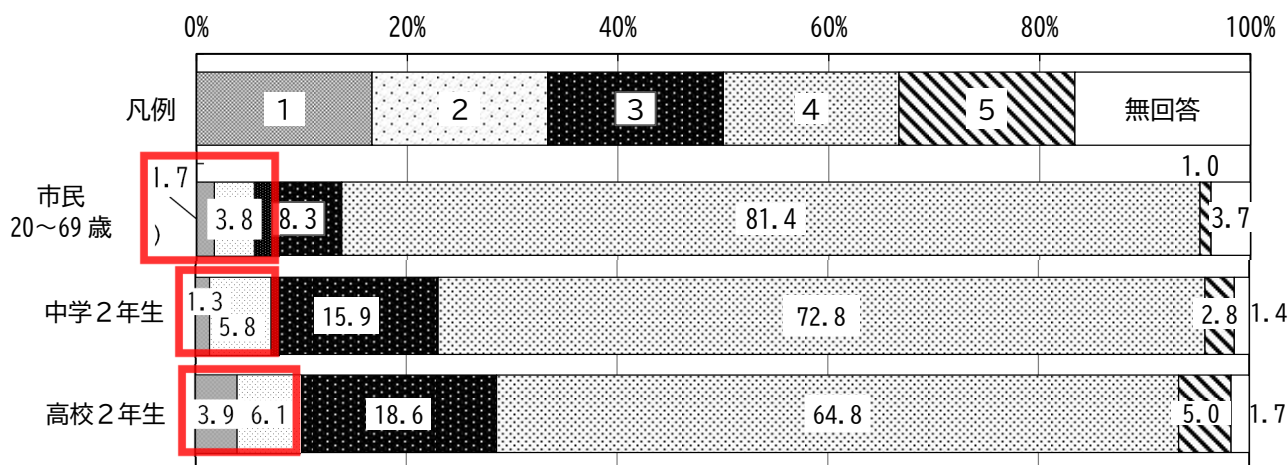
- 1. 理解したいと思う
- 3. いままで通り接する
- 5. その時にしないとわからない
- 7. 違和感がある
- 無回答
- 2. 応援したいと思う
- 4. 距離を置きたいと思う
- 6. 一部の人のことで、身近な問題ではない
- 8. その他



「理解したいと思う、応援したいと思う、いままで通り接する」と回答した人がどの世代でも70%を超えました。一方で、その他の回答では「その人が今まで通り接してほしいのか、関わって欲しくないのかを聞いて接し方を変える/何とも思わない/今まで通り接すると言いたい、確固とした自信はない」といった声もありました。

あなたは今までに、自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことはありますか。

- 1. よくある □ 2. たまにある ■ 3. ほとんどない □ 4. まったくない ■ 5. 答えたくない □ 無回答



「よくある/たまにある」と回答した人は市民（20～69 歳）では、全体の 5.5%を占めています。また、中学2年生では7.1%、高校2年生では10%と10人に1人が「悩んだことがある」と回答しています。